

《資料紹介》

左右田文庫について少々

Some remarks on Soda Kiichiro Collection

福島 知己

FUKUKUSHIMA Tomomi

社会科学古典資料センターは平成20年度から平成24年度まで5年にわたって一橋大学後援会より奨学寄付金の助成を受け、左右田文庫の保存修復作業を行った。これは文庫の全資料に対する劣化調査と、保存修復作業が必要な資料に対する処置の2つを柱とするもので、実際の作業は、センター内に設置されている貴重書保存修復工房のスタッフにより行われた。この場を借りて、工房スタッフの労をねぎらうと共に、なによりも、資金を提供してくださった一橋大学後援会にあらためて感謝申し上げたい。また、保存事業に並行して、左右田文庫目録の一橋大学蔵書検索 HERMES<sup>1</sup> および国立情報学研究所が運営する大学図書館等の総合目録データベース CiNii Books<sup>2</sup> への入力作業を完遂し、左右田文庫所蔵資料全点の書誌データをインターネット上で検索できるようにした。書誌作成にあたっては既存のカード目録を参照するだけで済まらず、あらためて全点を確認した。本稿では、一年遅れとなるが、左右田文庫整理の際に気づいたことがらを5点挙げて、参考に供したいと考える。

一、左右田文庫は東京商科大学や京都帝大で経済哲学を講じた左右田喜一郎の蔵書をもとにしたコレクションであるが、よく知られているように、1923年9月に関東大震災で一度蔵書を焼失させた後、1927年8月に没するまでにあらためて集められた。だとすれば、彼の研究人生のダイナミズムをそのまま反映したものというよりも、当該時期の左右田の関心をよく表現したものといえるかもしれない。左右田は1921年12月にカント研究の碩学ハンス・ファイヒンガーの蔵書を譲り受けて自身の蔵書に加えたが、それが灰燼に帰したことに責任を感じ、再収集を決意したとも伝えられる<sup>3</sup>。ただし、左右田文庫には、どうやらファイヒンガーのものと思われる蔵書票が貼られた資料11冊と、ファイヒンガー旧蔵と記されたスタンプが表紙に押された資料1冊が見つかる。このうち蔵書票については「カントのシルエットにアルファーとオメガの2字を配した上に自署を入れた木版刷のエキスリプリス」と紹介されており<sup>4</sup>、署名も Hans Vaihinger, *Die Philosophie des Als Ob*, 7. und 8. Aufl., Felix Meiner, 1922 の標題紙に向かい合って配置された著者肖像写真の下にあるものと一致している（【図版1】）。これらがまさしくハンス・ファイヒンガー旧蔵書だとすれば、震災時に全損したわけではなく、わずかとはいえ残っていたことになる。たまたま貸し出されていて災禍を免れたものであろうか。

<sup>1</sup> <https://opac.lib.hit-u.ac.jp>

<sup>2</sup> <http://ci.nii.ac.jp/books/>

<sup>3</sup> 太田可夫「左右田文庫の内容」、『一橋論叢』第5巻第6号、1940年6月、664頁。

<sup>4</sup> 勝木鼎一「左右田先生を悼む言葉」、『思想』第72号、1927年10月、362頁。

左右田文庫中で Vaihinger の蔵書票が貼られている書目

- Frost, Walter, *Der Begriff der Urteilskraft bei Kant*, M. Niemeyer, 1906. 【Soda B 524】
- Husserl, Edmund, *Philosophie der Arithmetik, psychologische und logische Untersuchungen*, Bd. 1, Pfeffer, 1891. 【Soda Ca 146】
- Köstlin, Otto, *Über die Grenzen der Naturwissenschaft. Eine Abhandlung*, 2., durchges. Aufl., L. Fr. Fues, 1874. 【Soda E 71】
- Krug, Wilhelm Traugott (hrsg.), *Encyklopädisches Lexikon in Bezug auf die neueste Literatur und Geschichte der Philosophie*, Abt. 2, Brockhaus, 1838. 【Soda Ab 624】
- Schellwien, Robert, *Das Gesetz der Sausalität in der Natur*, G.W.F. Müller, 1876. 【Soda Ab 884】
- Trendelenburg, Adolf, *Historische Beiträge zur Philosophie*, Bd. 1, *Geschichte der Kategorienlehre. Zwei Abhandlungen*, G. Bethge, 1846. 【Soda Ab 1008 (1)】
- Wolff, Christian, *Vernünfftige Gedancken von der Menschen Thun und Laßen, zu Beförderung ihrer Glückseligkeit, den Liebhabern der Wahrheit*, Renger, 1720. With this is bound : Wolff, Christian, *Vernünfftige Gedancken von dem gesellschaftlichen Leben der Menschen und Insonderheit dem gemeinen Wesen*, Renger, 1721. 【Soda Ab 1124】
- Xenophon, Von Athen Werke, 16 v. in 4, J.B. Meßler, 1827-1831. 【Soda M 92 (1)-(4)】

表紙に Ex Libris Vaihinger と記されたスタンプが押された書目

- Albert Wigand, *Die Alternative Teleologie oder Zufall : vor der Königlichen Akademie der Wissenschaften zu Berlin*, Theodor Kay, 1877. 【Soda Ab 1066A】

二、左右田文庫はカントや新カント派の文献を中心にしたコレクションであり、ヴォルフ、フリース、ライプニッツ等カント周辺の作家の作品も充実していることがかねて知られてきた。ところで、これまで注目されていなかったようであるが、スピノザの文献も数多く、数え方によって数は異なるが、本人の著作は全集や後年の版も含めて 25 点、研究文献は 82 点におよぶ。A. van der Linde, *Benedictus Spinoza Bibliographie*, 's Gravenhage, Martinus Nijhoff, 1871 は 1870 年までに出版されたスピノザの著作を 61 点数えているが、左右田文庫にはそのうち 15 点が収録されている（社会科学古典資料センター全体では 19 点）。スピノザの著作のうち B. v. S. *Sittenlehre widerleget von dem berühmten Weltweisen unserer Zeit Herrn Christian Wolf*, 1744 は、東京商科大学附属図書館が 1942 年に編纂発行した『左右田文庫目録』にはスピノザの著作ではなくヴォルフの著作として記載されており、今回の作業で訂正したものである。また 1670 年という出版年が標題紙に記された『神学政治論』*Tractatus theologico-politicus* を 2 点所蔵している（上記『目録』にはこの点でも誤記がある）が、それぞれゲーブハルトの推定する初版と第 3 版にあたるようである<sup>5</sup>（【図版 2】）。日本の大学図書館が古くから所蔵しているスピノザ原典としては 1922 年頃に東北大学が購入したヴント文庫（受入は 1926 年）に含まれる『神学政治論』が知られており、また前橋市の書店主・高橋清七が 1929 年前後に購入した

<sup>5</sup> Cf. *Spinoza's Opera*, im Auftrag der Heidelberger Akademie der Wissenschaften hrsg. von Carl Gebhart, Bd. 3, C. Winters, [1925], pp. 364-8. なお桜井直文「『神学・政治論』の書誌学」、『スピノザーナ』第 4 号、2003 年および「四折本『神学政治論』原典各版にみられるピネット」、同、第 5 号、2004 年も参照。ほんとうの出版年について諸説あるようだがここでは立ち入らない。

資料が現在では群馬大学スピノザ文庫（1950年寄贈）として収蔵されているが<sup>6</sup>、すでに述べたように左右田文庫は1927年に左右田が死去するまでに収集した資料を東京商科大学が1929年に受け入れたものだから、ほぼ同時期に収集されたものということになる。左右田がスピノザを収集した理由の一端は、ライプニッツ、ヴォルフ、メンデルスゾーンらの著作を集めているのと同様、いわばカント前の哲学史を渉猟しようとした結果に求めて差し支えないであろうが、その徹底した熱意には目を瞠る。

Lindeの書誌に掲載されている左右田文庫のスピノザ文献

（番号はLindeの整理番号）

1. 『デカルト哲学原理』 *Renati Des Cartes Principiorum philosophiae pars I, & II, more geometrico demonstratae* ..., Amstelodami, Apud Johannem Riewerts ..., 1663. 【Soda Ab 963】
3. 『神学政治論』 *Tractatus theologico-politicus continens dissertationes aliquot, quibus ostenditur libertatem philosophandi non tantum salva pietate, & reipublicae pace posse concedi* ..., Hamburgi, Apud Henricum Künraht, 1670. 【Soda Ab 969】 ※初版
3. *Tractatus theologico-politicus continens dissertationes aliquot, quibus ostenditur libertatem philosophandi non tantum salva pietate, & reipublicae pace posse concedi* ..., Hamburgi, Apud Henricum Künrath, 1670. 【Soda Ab 960】 ※第3版
19. *Benedikt's von Spinoza Theologisch-politische Abhandlungen*, neu übersetzt ... von Carl Philipp Conz, ..., Stuttgart, J.F. Steinkopf, 1805. 【Soda Ab 967】 ※Lindeは1806年版を記載
20. *Theologisch-politische Abhandlungen* ..., freye Uebersetzung und mit Anmerkungen begleitet von J.A. Kalb, München, Joseph A. Finsterlin, 1826. 【Soda Ab 967A】
21. *Benedict von Spinoza's Theologisch-politische Abhandlung*, uebersetzt und erläutert von J.H. von Kirchmann, Philosophische Bibliothek, 35. Bd., Berlin, L. Heimann, 1870. 【Soda Ab 970 (2)】
22. 『ラテン語遺稿集』 *B. d. S. Opera posthuma, quorum series post praefationem exhibetur*, [S.l.s.n.], 1677. 【Soda Ab 960】
25. *B. v. S. Sittenlehre*, widerleget von dem berühmten Weltweisen unserer Zeit Herrn Christian Wolf, ..., Frankfurt und Leipzig, [s.n.], 1744. 【Soda Ab 1127】
26. *Benedikt von Spinoza's Ethik*, ... übersetzt von Friedr. Wilh. Valent. Schmidt, ..., Berlin und Stettin, F. Nicolai, 1812. 【Soda Ab 956】
29. *Zwey Abhandlungen über die Kultur des menschlichen Verstandes und über die Aristokratie und Demokratie*, ..., herausgegeben und mit einer Vorrede begleitet von S.H. Ewald ..., Leipzig, in der von Schönfeldschen Handlung, 1785. 【Soda Ab 971】
- 42a. *Spinoza's Philosophische Schriften*, Bd. 1, *Benedikt von Spinoza über Heilige Schrift, Judenthum, Recht der höchsten Gewalt in geistlichen Dingen, und Freyheit zu philosophiren*, ..., Gera, bey Christoph Friedrich Bekmann, 1787 【Soda Ab 962 (1)】

---

<sup>6</sup> 高木久夫「国内蔵スピノザ“原典版”資料」、『スピノザーナ』第4号、2003年。

- 42b. *Spinoza's Philosophische Schriften*, Bd. 2-3, Gera, bey Christoph Friedrich Bekmann, 1787-93. 【Soda Ab 962 (2-3)】 ※ Linde には Bd. 2 のみ掲載されている。
49. 『小神論』 *Benedicti de Spinoza Tractatus de Deo et homine eiusque felicitate, lineamenta atque adnotationes ad tractatum theologico politicum*, edidit et illustravit Eduardus Boehmer, Halae ad Salam, J.F. Lippert, 1852. 【Soda Ab 968】 【Soda Ab 968A】
52. *B. de Spinoza's kurzgefasste Abhandlung von Gott, dem Menschen und dessen Glück*, Berlin, L. Heimann, 1869. 【Soda Ab 970 (1)】  
(参考) 左右田文庫以外
8. *Adnotationes ad tractatum theologico politicum*, Hagae-Comitum, [s.n.], 1802. 【Franklin 3223】
11. *Réflexions curieuses d'un esprit des-interressé sur les matieres les plus importantes au salut, tant public que particulier*, A Cologne, Chez Claude Emanuel, 1678. 【貴 J 660】
14. *A treatise partly theological, and partly political, containing some few discourses, to prove that the liberty of philosophizing (that is making use of natural reason) may be allowed without any prejudice to piety, or to the peace of any commonwealth ...*, London, Sold by the Booksellers of London and Westminster, Printed in the year 1737. 【貴 C 154】
44. *Œuvres de Spinoza*, traduites par Émile Saisset, Paris, Charpentier, 1842. 【貴 A B768】

三、そうはいっても左右田文庫で質量ともに他を圧倒しているのがカント関係書であることには変わりない。カント自身の著作だけでも異版や異刷を含めて優に 100 点を超え、さらに膨大な量の研究書（ドイツ語圏で刊行された学位取得論文を含む）が収録されている。マインツ大学から出ている *Kant-Bibliographie 1896-1944* と比較すると<sup>7</sup>、1926 年までに出版された数多くのカント文献を左右田が収集していたことがわかるのである。また同一タイトルでも複数冊を所蔵している場合がある。書目を見ると、とりわけて学生に貸し出すために複数備えたというわけでもなく、単に重複したか、事情があつて同一タイトルを複数購入したように思える。1783 年刊『プロレゴメナ』*Prolegomena zu einer jeden künftigen Metaphysik die als Wissenschaft wird auftreten können* はおそらく後者の例である。左右田文庫には 3 冊が所蔵されている（請求記号はそれぞれ Soda Ab 571、Soda Ab 571A、Soda Ab 571B）。また一般貴重書に 1 冊所蔵されているが（貴 A 251）、実はこれは 1948 年に左右田博士の奥様から一橋大学に寄贈されたものなので（標題紙に寄贈印が押してある）、おなじく左右田の旧蔵書であり、合計 4 冊を購入していたことになる。これらを比較すると、内容が異なる 3 種類のものがあるようなのである。おそらく左右田が異本の存在を知っていて、意図して集めたものであろう（【図版 3】～【図版 5】）。以下ではこれらの相違点について若干の説明をおこなう。

まず、『プロレゴメナ』の異本については、*Kant's gesammelte Schriften*, hrsg. von der Königlich Preußischen Akademie der Wissenschaften, Bd. 4, Georg Reimer, 1911, S. 607 以下に収録されている文章で、Benno Erdmann によって検討が加えられている<sup>8</sup>。エルトマンの説明を敷衍すると、以下ようになる（用語はエルトマンのものと変えてある）。1783 年に『プロレゴメナ』は 3 回にわたって別の版組をもちいて刷られた。ただし製本時に、A 折丁（折記

<sup>7</sup> Begründet von Rudolf Malter, hrsg. von Margit Ruffing, V. Klostermann, 2007.

<sup>8</sup> この文献は加藤泰史・一橋大学大学院社会学研究科教授にご教示いただいた。記して謝意を表したい。

号 A が記された折丁、この場合は表紙から 16 ページまで) だけが共通していて、それ以降の折丁 (つまり、17 ページから最終ページまで) が異なるものが作られたりしたので、実際には 5 種類の異本がある。つまり、1) 初版、2) A 折丁は初版と同じだがそれ以降が異なる第 2 版、3) A 折丁が初版と異なりそれ以降が第 2 版と同じ第 3 版があり、4) さらに第 4 版がある。そして、5) 初版にはごくわずかな違いのある異刷があるという<sup>9</sup>。これらの異本は数多くの語句の異同があり、また本文のレイアウトや本文冒頭と末尾の装飾的な図柄 (ヘッドピースとテイルピース) にも違いのあるものがある。要点をまとめると以下の通り。

#### エルトマンによる 1793 年版『プロレゴメナ』の異本の説明

- 初版 (エルトマンの  
用語ではグループ A) 標題紙下部の二重線の幅が狭く、両端に飾り記号が置かれている。本文冒頭 (3 ページ) のヘッドピースの図柄が、中央に花、両端に絡まるように花綱が配置された横長の帯 (schmaler Stab mit Blumenstück in der Mitte und seitlich rankenden Blumenguirlanden) である。同ページの本文冒頭の 3 行がインデントされ、空いたスペースに天使の図柄が印刷されている。巻末 (222 ページ) のテイルピースの図柄は蔦のからまった杖 (umflochtenen Stab)。29、105、118 ページのページ番号がそれぞれ 92、150、811 と誤植。
- 初版の異刷 (グループ B) 標題紙、本文の図柄は同じ。29 ページのページ番号のみ正しく訂正されている<sup>10</sup>。
- 第 2 版 (グループ C) 標題紙から 16 ページまでは第 1 版と同じ<sup>11</sup>。巻末のテイルピースの図柄が横長でうねりのあるロココ調の花の絵 (schmales geschweiftes Rococo-Blumenstück)。29、105、118 ページのページ番号が正しく訂正されている<sup>12</sup>。
- 第 3 版 (グループ D) 第 2 版までの標題紙と以下の相違がある。1) 題名の künftigen と Metaphysik の間隔が広がっている。2) オーナメントの図柄は同じだが、描画が粗い。3) その下の二重線の幅が広く、両端が開いている。また、本文冒頭のヘッドピースが、両端の花から連なる花綱が中央の 2 体のキューピッドによって支えられている横長のロココ調の図柄 (geschweiftes Rococomuster, dessen von seitlichen Blumenstücken ausgehende Guirlanden von zwei Amortten in der Mitte gehalten werden) である。同ページの本文冒頭にキューピッドの図柄がなく、

<sup>9</sup> どれもページ数は 222 ページで、校合式は 8° : A-N<sup>8</sup> O<sup>8</sup>(-O8) となる。

<sup>10</sup> 詳しい説明はされていないが、他にも、80 ページ註 4 行目、91 ページ註 4 行目、118 ページ 11 行目、182 ページ 21 行目に異同があるという。

<sup>11</sup> 正確には 4 ページの版面にごくわずかな違いが見られる (10 行目行末の über の後のハイフンのかたち、11 行目の y が擦れている、19 行目の z の高さが若干低い) が、これは何枚も刷っているうちに磨耗や歪みが生じただけで、全体としては変わらないという。

<sup>12</sup> その他数多くの行送りの変更、第 1 版の誤植の訂正 (No. 2-12)、綴りの変更 (No.13-23)、第 1 版にはない新たな誤植 (No. 24-39) が報告されている。また、各ページ上部のページ番号が記されているのと同じ段の中央に配置されている飾り模様が、49、79、118、123、126、148、153、156、185、188 ページで上下反転している (No. 40)。

代わりに先頭の字である D が 2 行分の大きな活字で印刷されている<sup>13</sup>。  
9 ページの註の行間が第 1 版より広い。17 ページ以降は第 2 版と同じ。  
第 4 版（グループ E） 標題紙の特徴は初版と同じ。本文冒頭のヘッドピース、冒頭行の体裁、  
および 9 ページの註の行間は第 3 版と同じ。巻末のテイルピースの図  
柄が第 1 版と同じ<sup>14</sup>。

エルトマンは第 3 版までは確実に 1793 年に出版されたといえるが、第 4 版については（海賊版の可能性を暗示しつつ）出版年が正確にはわからないとしている。

社会科学古典資料センターの左右田蔵書 4 冊のうち、Soda Ab 571 と Soda Ab 571B の 2 冊は、上記の第 3 版とすべての特徴が一致している（ただし、エルトマンには報告されていないが、22 ページのページ番号が 21 ページと誤植されている）。Soda Ab 571A は上記の初版の異刷（グループ B）と特徴が一致しているが、註 11 に記した 4 ページの版面の違いを見ることができる。グループ C の 4 ページの版面の違いは刷りを重ねたために生じたものだというエルトマンの推定を裏づけるものといえる。なお、エルトマンには報告されていないが、各ページ上部の飾り模様が第 2 版以降と異なる。また本文の版面の幅が若干狭い（Soda Ab 571 と Soda Ab 571B では 87 mm あるのに対して、83 mm しかない）。そして貴 A 251 は上記の第 4 版と特徴が一致している。本文の版面の幅は 87 mm である。なお、エルトマンが示唆していることだが、標題紙オーナメント、ヘッドピース（22 ページのものを含む）、テイルピース、各ページの飾り模様は初版のもの（ヘッドピースは第 3 版のもの）に似せて作られているが、よく見ると異なる<sup>15</sup>。

四、左右田には芸術愛好があった。岩波書店刊『全集』に収録された小伝には彫刻、音楽、演劇、写真術の趣味が記されているが<sup>16</sup>、このうち文庫中から明白なのは彫刻への興味であり、ミケランジェロやロダンについての研究書が見つかる。自邸にはロダンの彫刻が並んでいたという<sup>17</sup>。当時の趣味として特別違和感はないが、左右田の文化価値説に照らしてこの点どのような認識を抱いていたのかを探りたいと考えるひとがいるのも不思議ではない<sup>18</sup>。

五、左右田が最後に読んだ本に言及した文章がある。「〔1927 年〕6 月の半過、……床の敷いてある部屋の縁側で御話したが、……「20 年来探して居たサロモン・マイモンの本がこのごろやつと見つかつて愉快だ」と語られその時ばかりは御顔も稍々晴々した様だつた。（その本は亡くなられた後、先生の机の上に載せてあり、扉の所に 6 月 4 日附で私の話されたと同じ意

<sup>13</sup> その他本文にも異同がある（No. 44-48）。また、各ページの飾り模様が（註 12 で言及したものに加えて）8、9、10、13、15 ページで上下反転している（No. 50）。

<sup>14</sup> その他、第 3 版の誤植のいくつか（全部ではない）が訂正されて第 1 版同様になっている。エルトマンが挙げている（上記の No. 24-29、33-36、39、44-45、48）なかから 3 例のみ抜き出すと、No. 44:6 ページ 4 行目（第 1 版）setzt（第 2 版）sezt（第 3 版）setzt No. 24:24 ページ 18 行目（第 1 版）§ 2（第 2 版）§ 3（第 3 版）§ 2 No. 28:50 ページ 22 行目（第 1 版）§ 8（第 2 版）§ 3（第 3 版）§ 8

<sup>15</sup> 飾り模様の上下反転が 8、9、10、13、15、36、55、61、71、85、99、111、112、120、128、139、162、164、173 で生じている。

<sup>16</sup> 坂西由蔵「左右田喜一郎伝」、『左右田喜一郎全集』第 1 巻、岩波書店、1931 年、31 頁。

<sup>17</sup> 本多謙三「先生の追憶」、『思想』第 72 号、1927 年 10 月。

<sup>18</sup> 齋藤慶司『左右田喜一郎伝』私家版、1988 年、148 頁。

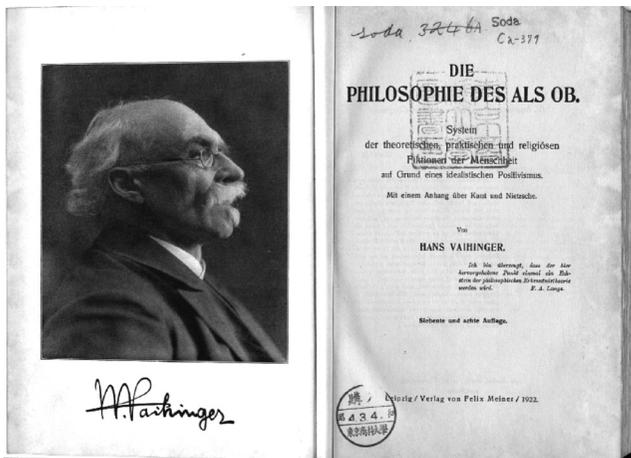
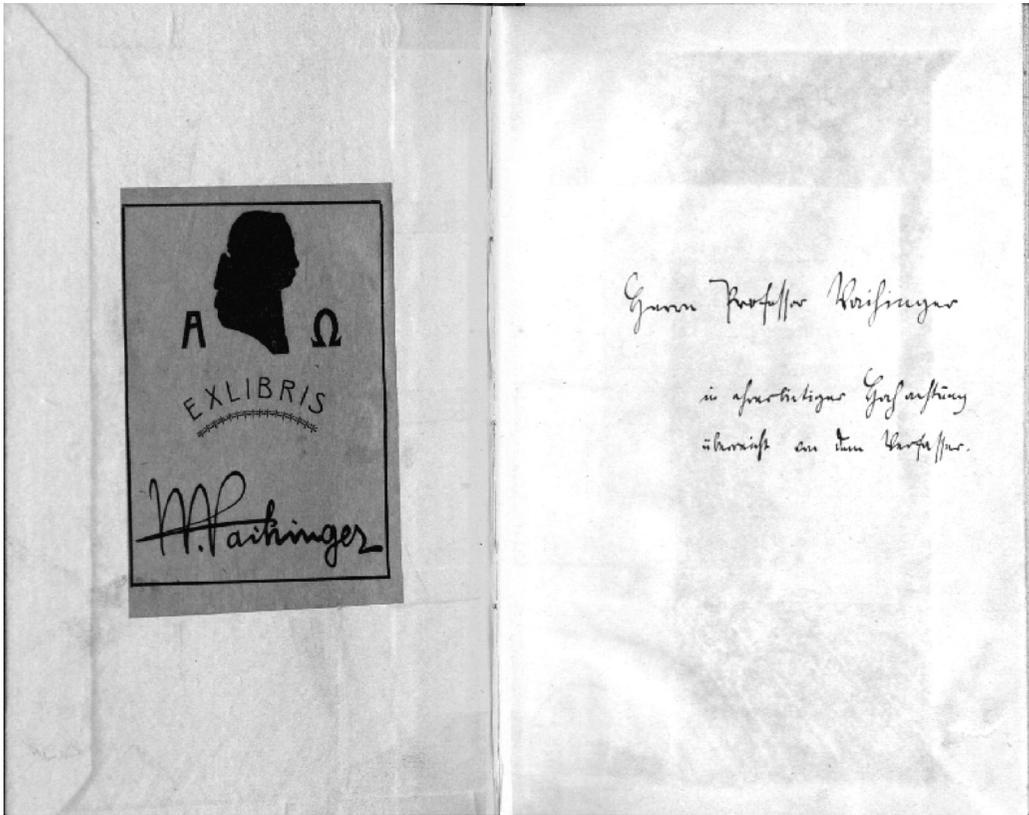
味の事が記してあつたので判つたのであるが、Salomon Maimon の “Streiferien im Gebiet der Philosophie”, Erster Teil, 1793. であつた。」<sup>19</sup>。文庫中の当該書の遊び紙から、左右田の一文をその筆跡とともに紹介しておく（【図版 6】）。

本研究は JSPS 科研費 23330066、23520894 の助成を受けたものです。

（一橋大学社会科学古典資料センター専門助手）

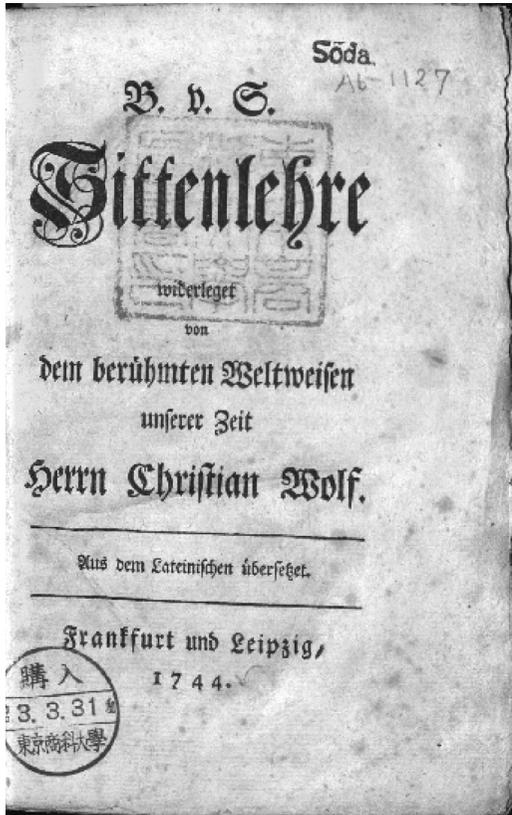
---

<sup>19</sup> 本多、前掲、349 頁。



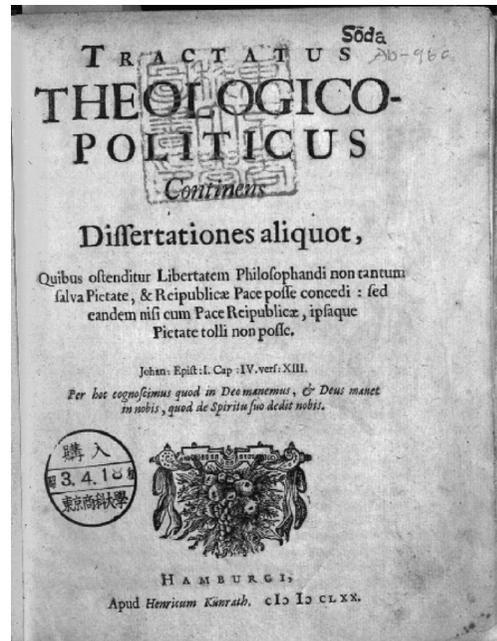
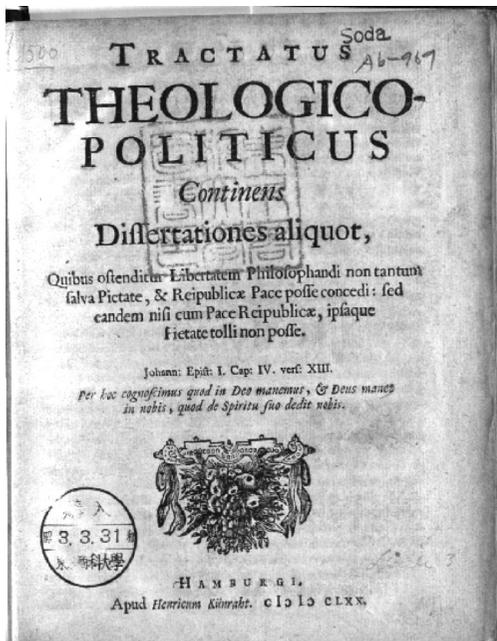
【図版1】（上）Walter Frost, *Der Begriff der Urteilskraft bei Kant*, M. Niemeyer, 1906 【Soda B 524】の表紙見返しに貼られた蔵書票。遊び紙には著者から Vaihinger への献辞も見える。

（下）Hans Vaihinger, *Die Philosophie des Als Ob*, 7. und 8. Aufl., Felix Meiner, 1922. 肖像写真の下に複製されている署名が蔵書票のものと一致している。



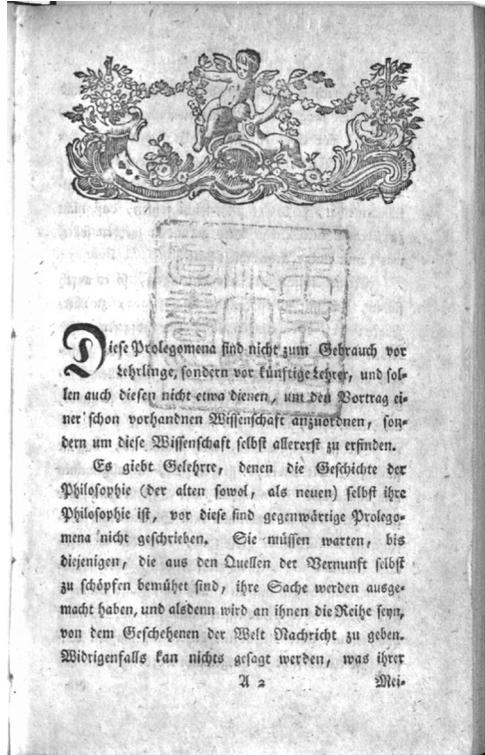
【図版2】(左) B. v. S. *Sittenlehre widerleget* von dem berühmten Weltweisen unserer Zeit Herrn Christian Wolf, 1744の標題紙。

(下) 標題紙に1670年刊行(c1o I o cl xx)と記された *Tractatus theologico-politicus* の2つの版。左下の初版では出版者が Künraht、警句が Johann となっているのに対して、右下の第3版では、出版者が Künrath、警句が Johan となっている。また、序文のテイルピースに違いがある(左が初版のもので、右が第3版のもの)。



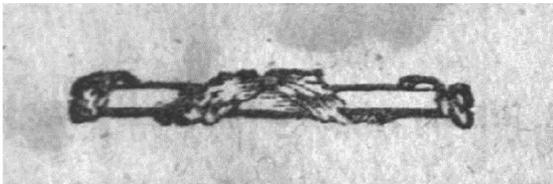
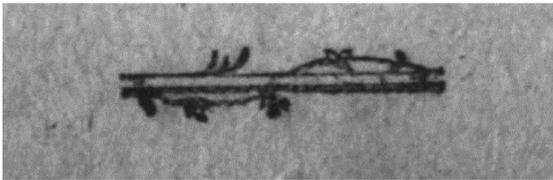
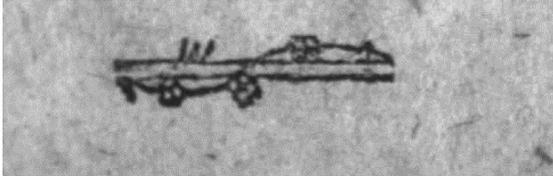
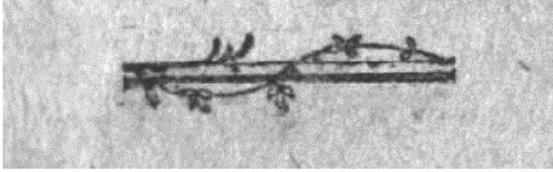


【図版3】1783年刊行と記されたProlegomenaの3つの版。左上(Soda Ab 571A)が初版の異刷で、出版表示の上の二重線の両端が飾り記号で閉じられている。右上(Soda Ab 571B)が第3版。初版と比べると、二重線の両端が閉じていないことや、künftigen Metaphysikという字の配置が違う(Mの字の位置を上の上の行のjedenの位置と比べてみるとわかりやすい)ことがわかる。左下(貴A 251)は第4版。オーナメントの意匠が類似しているが、どれも微妙に異なっている。



【図版4】各版の3ページ目。左上の初版異刷（Soda Ab 571A）では、他の2つとヘッドピースの図柄や本文冒頭の装飾の仕方が違う。右上の第3版（Soda Ab 571B）と左下の第4版（貴 A 251）のヘッドピースを拡大すると、よく似ているが微妙に異なるのがわかる（左が第3版で、右が第4版）。





【図版5】 ページ上部の飾り模様と巻末のテイルピースの各版の違い。それぞれ上から初版異刷 (Soda Ab 571A)、第3版 (Soda Ab 571B)、第4版 (貴 A 251)。初版異刷と第4版はよく似ているが異なる。

